

開講科目名 Course	アジア法研究演習 2 年 / Seminar on Asian Law
時間割コード Course Code	14132
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	水 / Wed 3
開講区分 semester offered	通年 / .
単位数 Credits	4.0
学年 Year	2
主担当教員 Main Instructor	佐藤 直史
科目区分 Course Group	研究演習科目
教室 Classroom	6 3 E 演習室
講義形式 Lecture Style	演習科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	佐藤 直史 (法学部)
授業の目標	<p>アジア各国の法に関する基礎的な理解 (各国の法の背景や日本法との比較・分析を含む。) を前提に、法の視点から、アジア各国又は国際社会における課題を多面的・多角的に分析・理解できる能力を有していることを示すことのできる成果物 (修士論文・リサーチペーパー) の作成につながる研究を行う。</p> <p>< 学習成果 ></p> <p>知識・理解の領域 アジア各国の法について、発展のプロセスや背景事情 (歴史・文化等) を含めて知識を得て、理解を深める。この過程において日本法との比較を行うことにより、アジア法・日本法の理解を更に深める。</p> <p>技能の領域 アジア各国の法に関する基礎的な知識を前提に、各国の社会・経済を支える基本的なルールがどのように機能し、利害関係者の利益を調整しているかについて、多角的に分析する技能を身につける。</p> <p>態度・志向性の領域 アジア各国の法に関する知見を広めることを通じ、各国内の課題のみならず国際社会における課題の解決に向けたルールの意義・機能を実感し、国際社会における法的思考・法的バランス感覚を養う。</p>
授業の概要	<p>受講生それぞれが選定した研究テーマに基づき、そのテーマに含まれる具体的なトピックに関するリサーチ、報告、質疑及び意見交換を行う。こうした取組みを通じて、研究テーマに関する論点 (リサーチ・クエスチョン) を更に適切なものに改善できるようになるとともに、研究のスコープ等についてもより適切なものとなるよう、ディスカッションを中心とした授業を行う。最終的に、授業の内容を、各自の成果物 (修士論文・リサーチペーパー) に反映させる。</p> <p>この科目の位置づけについては、本学HPのナンバリングを参照すること。</p>
評価方法	報告の内容や授業への貢献度等を総合的に勘案して評価する。
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	特になし。
授業計画	<p>第1回 ガイダンス及び研究計画の詳細に関するディスカッション</p> <p>第2回から第29回 研究計画に沿って行うリサーチの内容や成果物に関する進捗に合わせたディスカッション</p> <p>第30回 成果物に関する総合的なディスカッション</p>
テキスト	指定しない。
参考書	各自の研究計画に沿って指示する。
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含む

アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	各自の研究計画に合わせたディスカッションを中心として事業を進める。
実務経験のある担当教員による授業	該当する
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	弁護士実務経験に加え、アジア諸国における法整備支援の経験を豊富に有している教員が、学生のみなさんとの間で双方向的なやり取りを行い、アジア諸国における課題の解決に向けた法的アプローチについて、実践的に研究する科目である。
質問への対応方法	授業終了後やオフィスアワーのほか、随時対応する。
フィードバックの方法	研究計画に沿って行うリサーチの内容や作成された成果物について、授業中にディスカッションを行うほか、メール等を通じて随時コメントを行う。
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	研究計画に沿ってリサーチを行い、成果物を作成するために、少なくとも各回数時間程度の時間外学習を行う必要がある。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	1. 貧困をなくそう 10. 人や国の不平等をなくそう 2. 飢餓をゼロに 3. すべての人に健康と福祉を 4. 質の高い教育をみんなに 5. ジェンダー平等を実現しよう 8. 働きがいも経済成長も 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
SDGs 17の目標（11～17）	12. つくる責任つかう責任 16. 平和と公正をすべての人に 17. パートナリーシップで目標を達成しよう
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	